

めむろ 社 懐 だより

毎月 1 回 発行
3 月号 No. 250

平成20年 3 月12日 発行

社会福祉法人芽室町社会福祉協議会

東4条4丁目 TEL(62)1616・FAX(62)1657

青空の下でふれあいと
交流を深める

ふれあい雪中運動会を開催しました

心身のハンディの有無にかかわらず、新しい仲間と出会い交流を深めながら楽しく冬のひとときを過ごしてもらふふれあい雪中運動会を、去る2月11日にメモロスキー場第3駐車場などを会場に、170余名の参加のもと開催しました。

今年で14回目を迎えた同運動会。その準備に際しては、毎回実行委員会を組織し、町内の福祉団体など関係11団体からなる運営委員会と、有志(シニアスタッフ)による企画委員会に役割を分担し、参加者に楽しんでもらえる運動会を目指しました。特に企画委員会では、今回芽室高校と白樺学園高校から各4名の生徒が参加してくれ、シニアスタッフが高校生の活動をサポートする形で準備を進めてきました。

各種目は、ルールが単純で待機時間や進行の短縮を図ったものが主体なので、運営委員の万全な競技補助もあり、会場には参加者の賑やかな歓声が響いていました。

今年のプログラム 参加者を4チームに分け、雪中運動会と室内ゲームの合計得点で順位を決定

- ◆ 雪中運動会
 - ①ジャンボオセロゲーム(制限時間内で反す自チーム色のオセロ数を競う)
 - ②玉投げ競争(制限時間内で相手コートに投げ込む玉数を競う)
 - ③台風の目(3名1組で棒を持ち、サイコロの出目によって折り返すコースが異なるリレー種目)
 - ④大綱引き(雪上綱引き)
 - ⑤ココアサービス(休憩時間を利用したココアの提供)
 - ⑥パン食い競争(吊るされた景品を口でとる種目)



疾走する「台風の目」。スムーズなコーナークラークが勝敗の分かれ目

- ◆ スノーモービル体験試乗(芽室スノーモービル同好会の協力による特設コースでの体験試乗)
- ◆ 昼食(国民宿舎新嵐山荘のポークカレーとスポーツドリンク)
- ◆ 室内ゲーム
 - ①応援合戦(チームの団結力を高める種目)
 - ②〇×ゲーム(知的障がい者授産施設オークルなどを題材とした生き残り種目)
 - ③缶積み競争(制限時間内で缶を高く積むことを競うチーム選抜種目)
 - ④輪くぐりゲーム(両隣の人の足首をひもでしばり、体伝いにゴム輪をくぐるリレー種目)

ふれあい雪中運動会実行委員会 (順不同・敬称略)

◆ 運営委員会… 柏の里めおる保護者会、どんぐり会、

身体障害者福祉協会芽室町分会、民生児童委員協議会、青年会議所、地域子ども育成連絡協議会、ことばを育てる親の会、オークル、ほのほのクラブ、役場保健福祉課、社会福祉協議会

- ◆ 企画委員会…シニアスタッフ⇒西大條真吾、桜井くるみ、塚本知佳、姉崎吉美、日比野麻衣
芽室高校(2年)⇒松浦幸恵、鈴木陽香、原ちはる、小松千尋
白樺学園高校(1年)⇒神田悠太郎、村田知将、松谷綾華、山本梨絵



企画委員合同のミーティング。オークルの実習も含めて全5回実施

参加者の声 (家族参加した人からのアンケートより)

- ◆ 雪中運動会について
 - ・昨年に続いて2回目の参加でした。プログラムの内容を覚えていたので子ども達には分かりやすく、「昨年よりもがんばるぞ」と張り切っていました。
 - ・初めて会った人たちなのに、同じチームというだけで仲間意識が芽生え、親子で楽しめました。
- ◆ 室内ゲームについて
 - ・部屋が狭く、暑すぎで環境は余りよくなかった。
 - ・輪くぐりゲームは他でも使いたいと思いました。
- ◆ 雪中運動会全般について
 - ・ココアタイムの時、子どもの横でタバコを吸っている人がいて残念でした。
 - ・高校生ボランティアが協力してくれる姿を見てうれしく思いました。

- ・景品が目的ではないのでこの程度で十分ですが、オークル製品も含まれていたのが良かったです。
- ・雪中運動会で「大人がルール違反をしている」と子どもが訴えてきた。
- ・スノーモービル体験試乗(スノーラフティング)はいい企画でした。

高校生の声

- ◆ 参加した動機
 - ・先生に誘われ、仲の良い友達も参加するといったので、だれよりも頑張ろうと思った。(村田知将)
- ◆ 参加した感想
 - ・初めてのことで不安だったが、シニアリーダーが分からないところを教えてくれたりしていい体験

ができた。(原みちる)
・雪中運動会の司会が緊張しました。参加者の人たちが「楽しい」と言ってくれて、すごくうれしかったです。(小松千尋)

来年の開催に向けて

今後も、高校生の参加を呼び掛けていきたいと考えています。そのために、高校生自らがより主体的に取り組めるよう早い時期からミーティングを開き、企画の積み上げを行っていきます。

また、これまで参加者に対しプログラムのお知らせが徹底されていなかったため、新たに掲示板を設置するなど実行委員会内外から寄せられた指摘に答えられる活動展開を目指してまいります。

善意に深く 感謝いたします

平成20年

1月30日～2月29日

▽上伏古 福田シゲ子 さん	100,000円	夫 清治の死去に際して
▽山 川東 常美 さん	20,000円	母の死去に際して
▽毛 根 前田 富雄 さん	100,000円	母の死去に際して
▽上関山 大友 貴弘 さん	100,000円	祖母の死去に際して

(個人情報保護法により、掲載することに同意された方のみお名前等を掲載しています)

心配ごと相談日程

日 時	時 間	会 場	専 門 相 談 員
3月19日(水)	18:00～20:00	保健福祉センター 2階 静養室	根本 靖子(人権擁護委員) 長田 勇一(")
3月26日(水)	13:15～15:30	"	三好 佳子(行政相談委員) 土岐 一雄(人権擁護委員)
4月2日(水)	"	"	調 整 中
4月9日(水)	"	"	"

★上記時間内での電話相談 ☎62-2611・内線563)もできます。

ふれあい交流会日程

日 時	会 場	内 容	担 当
3月14日(金)	中央公民館	通常交流会	かしわ会
3月28日(金)	"	"	さつき会
4月11日(金)	"	"	さつき会

編集後記

ご協力ください

社会福祉協議会では、書き損じた葉書(官製はがき)の寄付を呼びかけています。数の多少にかかわらず、ご協力をいただける方は、社会福祉協議会までご持参ください。



▽最後の卒業生を送り出し、事実上閉校した母校中札内高校の卒業式に出席しました。私が在学していた25年前は、定員を超える合格者を出し、多くの生徒が部活動に参加するなど活気に満ちていたため、閉校するなど夢にも思いませんでした。恐らく、当時の同級生は誰もが同じ思いでいることでしょう。小規模校なため学年を超えて仲がよく、当時を振りかえると楽しい思い出が思い浮かばないため、彼らも在校生に見送られながら巣立ちたかったに違いありません。世代を超えて惜別の思いを共有したいと願いながら、希望に満ちた彼らの新しい門出に拍手を送りました。